

少女ヘジャル (2001)

BUYUK ADAM KUCUK ASK
BIG MAN, LITTLE LOVE
HEJAR

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 トルコ
色彩 Color
時間 120分
初公開日 2004/06/12
公開情報 アニープラネット

【解説】
言語と文化の壁を越え心を通わせていく老人と少女の姿を描いたヒューマン・ドラマ。中東の国々に分散し、国家を持たないクルド民族。本作は、そんなクルド人を巡る民族問題が激化した1998年のトルコを舞台に、両親を殺されて孤児になったクルド人少女と元判事のトルコ人男性の温かな触れ合いを綴る。監督は、これが長編劇映画2作目となるトルコ期待の女性監督ハンダン・イペクチ。
村が弾圧された際に両親を亡くし、孤児となってしまった5歳のクルド人少女ヘジャル。彼女は叔父のエブドゥに連れられ、イスタンブールに住む親戚のもとに預けられた。だがそれも束の間、親戚宅がクルド人分離独立派の拠点だったことから、武装警官隊の襲撃に遭い一家は皆殺しにされてしまう。ただ一人難を逃れたヘジャルは隣の家に入り込む。そこには妻と死に別れた75歳の元判事ルフアトが住んでいた。困惑するルフアトだったが、少女を不憫に思い、渋々ながらも彼女を匿うことに。ところが、ヘジャルがクルド語しか話せなかったことから、彼女の言葉が分からないルフアトはどう接していいか戸惑うばかりだった。

【クレジット】

監督	ハンダン・イペクチ	Handan Ipekci
製作	ハンダン・イペクチ	Handan Ipekci
脚本	ハンダン・イペクチ	Handan Ipekci
出演	シュ克蘭・ギュンギョル	Sukran Gungor
	ディラン・エルチェティン	ヘジャル
	フスン・デミレル	Fusun Demirel
	ユルドゥス・ケンテル	サキネ
	ミューゼイエン	ミューゼイエン
	エブドゥ	エブドゥ